

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	職員の適正配置は、グループホームに限らず、法人全体の課題として検討が必要となっている。煽りがなく公正な、「働きやすい職場」づくりを期待したい。	他施設の職員でも対応できる様にグループホームの仕事を覚えてもらえる人数を増やす。覚えてもらう時間、機会を作る。	自施設で人員が足りない状況になったら他施設の職員で急な応援の対応もできる様に、人員に余裕がある時に他施設の職員にグループホームの仕事を覚えてもらう。	6ヶ月
2	23	選択や意思決定支援の前に、意思形成支援の必要な状態である。利用者の意欲や興味を引き出すような、仕掛けづくりを期待したい。	意欲や興味を引き出す為、創作活動や選択する時等、見えやすく伝えたりわかりやすく伝えたりし工夫する。	食べる物、飲むものを選んでもらう時に、品が多く覚えられない、メニューが見えない等あったかもしれない。メニューの写真を大きく見せたり、選択する物も選びやすくする為しぼる等工夫をする。創作活動は個々のレベルに合わせて楽しめる様に提供する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。